

拝啓 早春の候、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、東日本大震災から間もなく一年が経過いたします。震災直後から今日まで、多大なるご支援並びにご厚情賜りましたことを心より感謝申し上げます。

この一年は、多くの村民にとって、生涯忘れることの出来ない辛い厳しい出来事だったことと思っております。

しかし、ようやく本村におきましても復興への兆しが見え始めて参りました。地震によるインフラの復旧も着実に進み、更に復興・再生に向けて、住環境・農地の徹底した除染、再生可能エネルギーの調査及び検討、農商工一体となった新たな産業構造の構築に向け、確実に一步一步進んでいております。

また、皆様から頂きました義援金や支援物資を原資として、災害時に対応できる備蓄倉庫を建設し、非常用食材や防災資機材の充実を図って参ります。今後も、皆様には格段のご指導ご鞭撻をお願いすることと存じます。何卒、よろしくお願いいたします。

まだまだ寒さが残っております。どうぞくれぐれもご自愛ください。

敬具

平成二十四年三月

大玉村長 浅和 定次